

デジタル多機能電話機簡単操作ガイド

1. 発信

1 1. < 内線発信 >

受話器を上げ、相手内線番号をダイヤルします。

1 2. < 外線発信 >

受話器を上げ、「0」の次に相手番号をダイヤルします。
(自動的に一番安い回線を選択します。)

< 発信番号の通知、非通知が選択できます >

通常は通知しますが、非通知で通話したい時は電話番号の前に(184)をつけてダイヤルして下さい。また、市外通話は非通知になる場合がありますので、通知したい時は電話番号の前に(186)をつけてダイヤルして下さい。

1 3. < 国際発信 >

受話器を上げ、「10+010」の次に国番号 + 相手番号をダイヤルします。

2. スピーカ

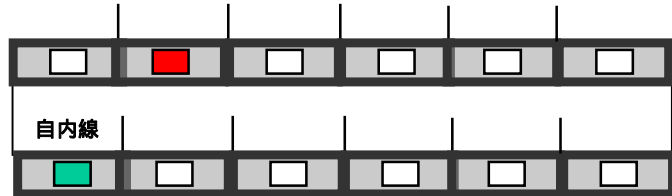
保留/加英字



受話器を上げずに番号をダイヤルすることができます。
(内線電話の場合) そのまま内線番号をダイヤルします。
(外線電話の場合) 「0」 + 相手の外線番号をダイヤルします。
相手がでたら、受話器を上げ通話します。

3. 応答

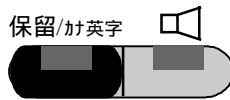
ベルの鳴っている電話機は受話器を上げて応答します。
ベルの鳴っていない受話器で受ける場合は赤色に点滅しているボタンを押すか又はピックアップによる応答が出来ます。(4項ピックアップ参照)



4. ピックアップ

同一ピックアップグループ内の自分以外の電話機が鳴っている時に自分の電話機で応答することが出来ます。
受話器を上げて「*」ボタンを押します。

5 1. 保留(ボタン割付)



ボタンを1回押します。

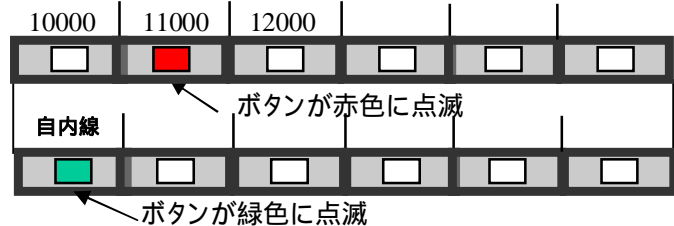
< 保留の応答 >

自分で保留した電話を受ける時

他の人が保留した電話を受ける時

「緑」に点滅しているボタンを押す。

「赤」に点滅しているボタンを押す。



ランプ表示の見方

(緑色の点滅) 自分の電話で保留した時

(赤色の点滅) 他の人が保留した時

5 2. 自己保留

自分に掛かってきた電話を保留の際に他の内線の方にとられる事を防ぐことができます。

<注> 誤って2回押すと他の電話機で応答できなくなります。
もう1度保留ボタンを押すと保留に戻ります。



ボタンを2回押します。

* 自己保留のランプ状態

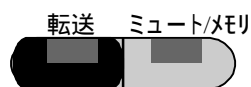
自己保留したボタン

他の電話からみた状態

「緑」の点滅(自分のみ応答可能)

「赤」の点灯、応答不可

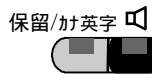
6. 転送



お話し中に転送ボタンを押し「相手の内線番号」をダイヤルします。

7. 可変不在転送

< 登録方法 >



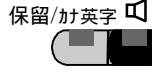
受話器を上げるか
スピーカボタンを押します。



不在転送ボタン
を押し、続けて
「転送先内線番
号」を入力します。

受話器を持っていた場合は受話器
を置いて下さい。スピーカボタンを押して
いた時は再度スピーカボタンを押して
下さい。登録完了です。

< 登録解除方法 >



受話器を上げるか
スピーカボタンを押します。



不在転送ボタン
を押します。

受話器を持っていた場合は受話器
を置いて下さい。スピーカボタンを押して
いた時は再度スピーカボタンを押して
下さい。登録解除完了です。

(注意) 数字の入力は間を置かずに続けて入力して下さい。

8. 電子電話帳機能

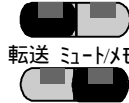
内線および外線の相手番号を氏名と一緒に50件まで登録できます。
登録操作は受話器を置いた状態で行います。

< 登録方法 >



コールボタンを押して
電子電話帳モードへ
移行します。

保留/カ 英字



カ/英字ボタンより入力モード
を選びます。ディスプレイの
表示に名前を入力し
メモボタンを押します。

転送 ミュート/メモ



電話番号を入力し
メモボタンを押します。
電話帳1件分番号
登録完了。
繰り返し登録可能です。

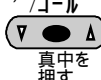


コールボタンを2回押すと
電子電話帳モード解除
となります。

(注意) 外線登録は相手電話番号の前に必ず「0」を付けることを忘れないで下さい。

< かけ方 >

登録した電子電話帳を呼出して電話をかけます。(スクロール機能での呼び出し)



コールボタンを2回押して、
電子電話帳表示画面
を開きます。



スクロールボタンを押し、
目的の電話番号を表示
し、受話器を上げるか
スピーカボタンを押します。

表示されていた電話番号
へ電話がかかります。

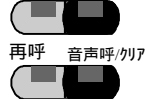
電子電話帳からの発信を取り止める場合は、再度コールボタンを押します。

< 登録データの削除方法 >



コールボタンを2回押して、
電子電話帳表示画面を
開きます。

転送 ミュート/メモ



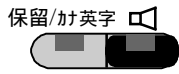
ボタン又は ボタンで目的の名前・電話番号
が表示されるまで押して下さい。メモボタン、
クリアボタンの順に 押します。削除して良いか
どうか メッセージが表示され、ダイヤルボタン「1」を
押すと削除になります。

9. 可変短縮ダイヤル登録

各グループごとあるいは電話機ごとに使える短縮番号です。

登録可能数は20件(00～19)です。

< 登録の方法 >



受話器を上げるか
スピーカボタンを押します。

特番「17」を入力し、続けて短縮番号2桁(00～19)をいれ、続けて相手の電話番号を入れます。

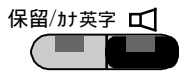
受話器を持っていた場合は受話器を置いて下さい。スピーカボタンを押していた時は再度スピーカボタンを押して下さい。登録完了です。

注意: 数字の入力は間を置かずに続けて入力して下さい。

また、外線登録は相手電話番号の前に必ず「0」を付けることを忘れないで下さい。

< かけ方 >

登録してある短縮ダイヤルで電話をかけます。



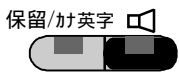
受話器を上げるか
スピーカボタンを押します。

特番「18」を入力し、続けて短縮番号2桁(00～19)をいれます。

短縮登録されていた番号へ電話がかかります。

10. 再呼(リダイヤル)

最後にかけた相手を再度呼ぶことができます。



受話器を上げるか
スピーカボタンを押します。



再呼ボタンを押すと最後にかけた番号が表示され電話がかかります。

11. リリース

続けて何ヶ所もの電話をする時に受話器を置かずにダイヤルできます。

リリース サービス



通話終了直後に受話器を上げたままリリースボタンを押すことにより次の相手にダイヤルできます。

12. 音声呼

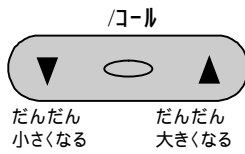
相手の電話機のスピーカから音声で呼ぶ事が出来ます。

(相手も同じ多機能電話機の場合のみ可能)



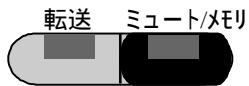
ダイヤル終了直後の相手呼出中に音声呼ボタンを押すことにより自分の声で伝えることが出来ます。

13. 音量調整



- ・呼出音が鳴っているときに呼出音の音色を切り替えることができます。
- ・呼出音が鳴っているときに呼出音の音量を調整できます。
- ・お話し中に、相手の声の大きさを調整できます。
- ・お話しをしていない状態で、ディスプレイ表示の輝度を調整できます。

14. ミュート



- 通話中に自分の声を相手に聞かせたくないときに使用します。
(注)お話しを再開する時は再度押さないと相手に声が伝わりません。

15-1. 中継台(交換台)への呼出

受話器を上げ、「9」をダイヤルします。

15-2. 中継台(交換台)への呼返し

交換手より転送された通話を、「9」をダイヤルする事により交換手へ戻します。